

平成29年度事業報告

I 重点項目

平成29年度は、次の項目に重点を置き、事業を実施した。

1 自然災害による風評被害対策の継続

平成28年10月に発生した鳥取県中部地震や翌年2月の記録的な大雪など、自然災害による全県的な観光への風評被害対策のため、復興と更なる観光客誘致に向けた取組を、継続して実施した。

- (1) 県外からの誘客促進を図るため、バス旅行商品を造成する旅行会社に対して、経費の一部を支援する取組を引き続き実施した。
- (2) 観光パスポート「トリパス」を引き続き発行し、県内での観光周遊や宿泊など、県内への誘客促進を継続実施した。

2 山陰デスティネーションキャンペーンに向けた取組

平成30年7月から9月に、「Nostalgic San'in わすれがたき山陰」をテーマとして、山陰両県とJRが連携して実施する「山陰デスティネーションキャンペーン」(山陰DC)に向け、プレDCとして、各種の観光PRを実施した。

- (1) 山陰デスティネーション協議会に負担金を拠出するとともに、首都圏・中部地域・関西地域に配置している観光プロモーターにより、旅行会社への販売促進活動を実施した。
- (2) キャンペーンの周知や機運醸成のため、県内外における各種媒体への広告掲載や都市部の観光イベントにおけるキャンペーンPRなど、情報発信を行った。

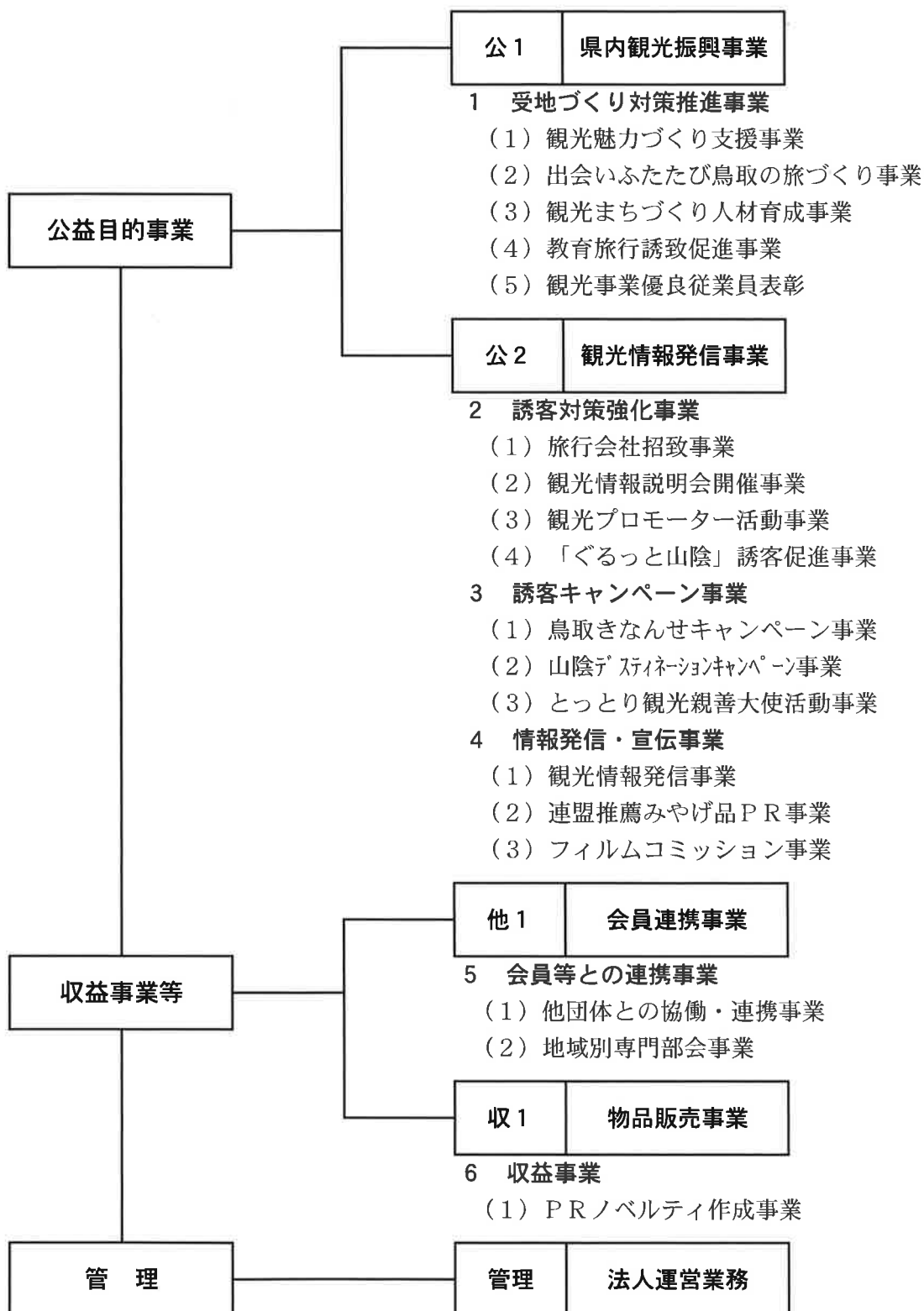
3 教育旅行誘致の推進

教育旅行を本県に誘致するため、誘致活動の促進と受入体制の充実を図った。

- (1) 教育旅行誘致コーディネーターを関西地域に配置し、教育旅行情報報説明会や教育旅行キャラバンを関西圏において実施することにより、誘致活動の促進を図った。
- (2) 県内における受入態勢を充実するため、教育旅行受入会議を開催して各地域間の調整を行い、広域で連携した受入を行うための支援を実施した。

II 平成29年度の事業体系

平成29年度は、以下のとおり各種事業を実施した。



Ⅲ 各事業の実施報告

() 内は最終予算額

1 受地づくり対策推進事業 (公益目的事業1)

(1) 観光魅力づくり支援事業 決算額 1,034,210円(1,800千円)

① 「開運八社巡り」の実施

縁起の良い名前を持つ神社八社と、干支に因んだ所縁神社を巡る「開運八社巡り」を県内外に広くPRし、県内周遊を促進した。また、旅行商品化によって多くの誘客につながった。

【旅行商品化】

下電観光バス「因幡伯耆国開運八社巡りバスツアー」(岡山発:平成29年1~2月)。

神戸新聞旅行社「カニ会席と因幡伯耆国開運八社巡りツアー」(神戸発:平成29年2月)。

クラブツーリズム「皆生温泉と戌年開運八社巡りツアー」(東京発:平成30年2~4月)。

【商品売上】

開運手ぬぐい(酉年):2,440枚販売(平成29年4月から平成29年12月)

開運手ぬぐい(戌年):978枚販売(平成29年12月から平成30年3月)

招福良宮巡り福紗:362枚販売(平成29年4月から平成30年3月)

② 鳥取・岡山広域観光協議会による広域連携事業

両県共同で、観光PRイベントの開催、ドライブマップの作成を実施したほか、大山・蒜山の周遊を促すためのスタンプラリーを新たに実施した。

・両県共同アンテナショップでの観光PR(平成29年9月10日、平成30年1月6日)

・鳥取・岡山ドライブマップの増刷・改訂(平成29年8月:1万部。平成30年3月:6万部)

・大山・蒜山の周遊スタンプラリーの実施(平成29年10月1日~11月26日)

(2) 出会いふたたび 鳥取の旅づくり事業 決算額 13,259,112円(13,532千円)

「個人・グループ旅行誘致」を中心とした誘客対策として、「魅力的な観光素材の磨き上げ」「旬な情報の適時・的確な提供」「お客様の意見や声の把握」など、顧客視点に立った鳥取の旅を提案できる仕組みづくりを推進した。

① とっとりの旅づくり事業

地域の魅力を活かした観光地づくりに取り組むエリアの地域資源を活用し、既存観光資源の磨き上げや新たな商品開発、地域交通などを組み合わせたエリア内の周遊コースや滞在プランの企画作成によって、地域への誘客を図る事業を引き続き実施した。

平成27・28年度は、県内3地域で事業を実施したが、平成29年度は、日野郡3町、八頭・若桜の2地域において、専門講師の派遣、前年度までに開発した観光素材の改良や磨き上げを行い、誘客及び周遊観光の促進につなげるための各種取組を実施した。

また、平成28年度より取組を始めた吉岡温泉エリアについては、地域の取組に応じた専門講師を派遣し、観光客向けの商品の開発に向けたワークショップやミーティングを実施した。

【日野郡3町エリア】

・「三色たたらんち」の正式販売後も、大山1300年祭記念事業や他団体との連携を行いながらバージョンアップを行い、ご当地グルメとしての確立を図った。

・「たたらんち」を絡め、季節に応じた周遊コースを「金運UP!王道コース」とし、パンフレットや連盟ホームページで情報発信を実施し、日野郡内の観光資源の認知を図った。

《専門講師とのミーティング、事務局協議等実施回数》 計17回

【八頭・若桜エリア】

・定義(コンセプト)や提供手法を確立させた「ほっこり補給スープ」を、八頭町4店

・若桜町2店舗にて、平成30年4月から正式販売を開始した。

・八頭、若桜両町の役場、観光協会で構成する実行委員会を立ち上げ、平成30年度以降も取組を継続する体制を整えた。

- ・スープをPRするチラシ等を実行委員会で作成し、各種イベントにおける試食会の開催等によって、地域の認知度を高めることができた。

《専門講師とのミーティング、試食会等実施回数》 計12回

【吉岡温泉エリア】

- ・吉岡温泉館のオープンや山陰道ICの開設を好機に、「吉岡温泉さんぽルート」と「吉岡温泉グルメ」の開発を目指して、おもてなしの環境整備や地域の体制を整えた。

○吉岡温泉さんぽルート

⇒ 温泉街を巡るルートを新たに2つ完成させ、地域でチラシを作成した。

○吉岡温泉グルメ

⇒ 既存の「ぎょうせん飴」を小瓶化し、新たな土産品として開発に取り組んだ(継続中)。

《専門講師とのミーティング実施回数》 計8回

② 着地型観光・体験情報発信事業

- ・日本最大級のレジャー・体験予約サイト内に開設した「鳥取県観光ページ」の内容の更新及びそのページへの誘導バナーの設置によって、年間を通じたWEBプロモーションを実施した。
- ・更新にあたり、取材に基づく特集記事を4つ作成・公開した。
- ・アクセス解析(年2回)や戦略会議(年3回)の実施により、ページ閲覧数は、前年度より4割近く増加し、多くの消費者の目に触れた。申込組数は微減したが、体験プランの購入は前年度より増加しており、波及効果も含めて地域消費増加につながった。

《参考》

ページビュー; 約7,100万(対前年比 約1.4倍)

③ 鳥取県観光誘客キャンペーン(観光パスポート)実施事業

- ・観光パスポート「トリパス」を発行し、本県観光地を周遊する楽しみ方等を紹介する特集ページ、観光施設をお得に利用できる割引特典クーポン、応募によって賞品が当たるスタンプラリーを掲載し、宿泊、周遊、再来訪等の促進を図った。
- ・旅行会社のパンフレット等にも掲載された。

【春旅・夏旅キャンペーン】

期 間: 平成29年4月1日(土)～9月30日(土)

宣伝物: トリパス(A6・44頁)8万部、チラシ4万部、各種POP(ポスター等)

優待特典協力施設数: 177施設

《スタンプラリー応募状況》

スイカ、二十世紀梨が当たるスタンプラリー 応募数: 2,643通

【秋旅・冬旅キャンペーン】

期 間: 平成29年10月1日(日)～平成30年3月31日(土)

宣伝物: トリパス(A6・44頁)7.5万部、チラシ2万部、各種POP(ポスター等)

優待特典協力施設: 179施設

《スタンプラリー応募状況》

地酒等ご当地の特産品が当たるスタンプラリー 応募数: 1,363通

- ・旅行商品企画として、日本旅行、近畿日本ツーリスト等の参加者特典として活用されたほか、JTB、HIS等の旅行社パンフレットでも紹介された。

(3) 観光まちづくり人材育成事業

決算額 203,630円(1,000千円)

① 連盟主催の人材育成事業(研修会の実施)

観光まちづくり人材育成研修 ((公社)日本観光振興協会助成事業)

- ・テーマ: 観光産業の「稼ぐ力」と「働く面白さ」ー観光マーケティングが地域を変えるー
- ・開催日: 平成29年10月20日(金)
- ・開催場所: とりぎん文化会館 第2会議室
- ・講師: 近畿大学経営学部教授 高橋 一夫 氏

- ・受講者：41名
- ・概要：観光業界を取り巻くマーケティングの在り方について、費用対効果を意識したビジネスモデルの提案及び紹介等

② 会員が実施する人材育成研修に対する連盟の助成

(観光人材育成支援事業の実績)

- ・支援団体(第2種会員)：2団体(倉吉観光マيس協会、湯梨浜町観光協会)
- ・事業名：倉吉観光マيس協会所属観光ガイド上期研修、湯梨浜町観光ガイド養成講座

(4) 教育旅行誘致促進事業	決算額 11,126,873円(10,484千円)
-----------------------	----------------------------------

体験型教育旅行を鳥取県内に誘致促進するため、各受入関係機関や事業所との協調、受け入れ態勢の充実、効果的な誘致活動の活性化を図るべく、研修等を行った。

また、誘致にあたっては、「教育旅行誘致コーディネーター」を最重要地区の関西に配置し学校関係者、旅行会社、教育旅行研究機関との情報収集や提供等を行うとともに、鳥取県内の受け入れ機関との意見調整や教育旅行関係者との現地研修を行い、民家体験をはじめとした県内教育旅行関係施設の開発と磨き上げ支援を行った。

① 「鳥取県教育旅行誘致促進協議会」活動

ア 鳥取県教育旅行誘致促進協議会総会

- ・開催日時：平成29年6月7日(水)午後1時30分～午後2時30分
- ・場 所：北条農村環境改善センター
- ・参加者：地元関係者 23名、鳥取県 2名、市町村 3名、事務局他 7名
- ・開催内容：平成28年度活動報告・決算報告、平成29年度活動計画・予算計画、役員変更、教育旅行説明会・教育旅行キャラバン計画、会員による取組事例報告、顧問による近年教育旅行動向報告など

イ 鳥取県教育旅行誘致促進協議会 合同部会

- ・開催日時：平成29年6月7日(水)午後1時30分～午後2時30分
- ・場 所：北条農村環境改善センター
- ・参加者：協議会員19名(体験学習部会7名、誘致部会8名、民泊部会4名) 事務局他 7名 合計26名
- ・開催内容：旅行会社との予約、精算の方法について
平成29年度の誘致活動(キャラバン、説明会)について
平成30年度の民泊受入態勢について
民泊受入家庭の拡大について
民泊家庭のマニュアルについて

ウ 県外視察研修(とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会との合同開催)

民泊・家業体験について、一層のレベルアップを図るため、他県事例研究等による研修を実施した。

- ・開催期間：平成30年3月13日(火)～14日(水)
- ・視 察 先：庄原市さとやま体験交流協議会
- ・視 察 先：協議会員16名、事務局2名 計18名
とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会 会員20名、事務局1名
合計39名
- ・内 容：庄原市さとやま体験交流協議会の取り組み聞き取り
民泊、家業体験
- ・先進的な取り組みを実施している同協議会の方々からの話：
実際に民泊した家庭での体験は、大変参考になった。

② 体験型教育旅行の誘致活動

ア 学校(教職員)、旅行会社を対象とした下見・現地研修会

順	旅行会社・支店名	実施日	人数	担当者	視察先(主なところ)
1	阪急交通社 大阪教育旅行センター	4/1-3	2	磯江	関金・湯梨浜・佐治・砂丘・岩美
2	日本旅行 大阪教育旅行支店	4/3-4	2	磯江	大山・湯梨浜・関金・佐治・砂丘・岩美
3	羽曳野市立峰塚中学校	5/20	5	磯江	関金・佐治・砂丘・岩美
4	大阪市立大開小学校	7/15-16	4	磯江	鳥取・砂丘・関金・北栄・倉吉
5	大阪市立新巽中学校	7/31-8/1	4	磯江	関金・湯梨浜・佐治・砂丘・岩美
6	島本町立第一中学校	8/2-3	1	磯江	関金・湯梨浜・佐治・砂丘・岩美
7	大阪市立大正西中学校	8/2-3	5	磯江	大山・湯梨浜・関金・佐治・砂丘・岩美
8	大阪市立白鷺中学校	8/9-10	4	磯江	大山・湯梨浜・関金・砂丘
9	松原市立松原中学校	8/23-24	6	磯江	大山・湯梨浜・関金・砂丘
10	松原市立松原三中学校	8/26-27	8	磯江	倉吉・佐治・砂丘・岩美
11	羽曳野市立峰塚中学校	8/28-30	9	磯江	大山・湯梨浜・関金・佐治・砂丘・岩美
12	JTB教育旅行名古屋支店	9/1-3	2	大竹	大山・倉吉・湯梨浜・砂丘・浦富

イ 関西圏における教育旅行情報説明会

- ・開催日：平成29年6月28日(水)
- ・参加者：学校関係者、旅行会社、教育旅行関係団体、地元関係者等 52名
- ・実施内容：誘致促進協議会概要説明、体験施設等のプレゼンテーション、商談会

ウ 関西圏における教育旅行キャラバン

- ・開催日：平成29年6月29日(木)
- ・参加者：協議会員13名、事務局4名 合計17名
- ・訪問先：大阪市、東大阪市、松原市内の中学校と旅行会社など27箇所

③ 情報発信機能の強化

鳥取県の観光案内情報を提供するポータルサイト「とっとり旅の生情報」内の「教育旅行」部分について、県内外の学校及び旅行会社等の視点で、大幅にリニューアルした。

- ・リニューアル内容：専門ページを追加で作成
 - ・体験プログラム、民泊・旅館・ホテルページの拡充
 - ・モデルコースページの新設

④ 県内広域連携への支援

関西から来鳥し県内で民家体験宿泊する大型校への取組として、各地域間の調整や各種課題の解決を図るため「教育旅行受入会議」を開催。

開催日：第1回 平成29年 7月28日(金) 於：佐治
 第2回 平成29年10月27日(金) 於：佐治
 第3回 平成30年 3月 1日(木) 於：県庁

参加者：五しの里さじ地域協議会、倉吉市体験型教育旅行誘致協議会、智頭町民泊協議会、北栄グリーンツーリズム研究会、事務局

⑤ その他

ア 「とっとりスタイルエコツーリズム」教育旅行誘致促進事業

- ・事業趣旨：本県で宿泊を伴う教育旅行を行う学校を対象とした宿泊費助成。
- ・支援内容：宿泊延べ人数×1,000円を補助(1団体上限30万円)
- ・支援実績：対象学校数及び対象人数…28校、延4,067名

《参考》近年の県内への修学旅行催行実績及び予定

平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
5校	6校	9校	10校	6校	12校

イ 所得格差拡大等の要因による関西地区中学校における修学旅行方面変更

「旅行代金の抑制」の中で、関西地区では、修学旅行方面の見直しが図られ、コーディネーターをはじめ関係者の誘致プロモーション等により、平成31年度に関西9校1,500名余り、東海地区高等学校から3校約1,000名余りの鳥取への修学旅行が決定している。(平成30年3月末時点)

(5) 観光事業優良従業員表彰**決算額 76,646円(100千円)**

- ・観光事業優良従業員の業績を評価し、6月22日の通常総会において表彰を行った。
表彰者数： 優良従業員 12名

2 誘客対策強化事業**(公益目的事業2)****(1) 旅行会社招致事業****決算額 1,069,044円(2,500千円)**

観光プロモーターを中心に、首都圏、中京圏、関西圏、中四国・九州圏を対象に県外旅行会社の旅行商品造成担当者や販売担当者の現地研修を実施した。

[現地研修の状況]

順	旅行会社・支店名	実施日	人数	担当者	視察先(主なところ)
1	JATA関西支部 国内旅行委員会	7/12-13	8	大竹	三朝・倉吉・北栄
2	農協観光中部統括事業部	8/2-3	14	大竹	大山・南部・倉吉・砂丘・鳥取
3	JTB首都圏	11/15-17	4	田中	境港・皆生・大山・北栄・倉吉・砂丘・智頭

※ 平成30年度にJRディスティネーションキャンペーン・JTB「日本の旬 瀬戸内・山陰」キャンペーンがあり、各社で積極的に研修を行っていたため、当連盟は、資料提供などの支援を行った。

また、各旅行社スタッフの下見の同行については、積極的に実施。

(2) 観光情報説明会開催事業**決算額 3,100,974円(2,500千円)**

首都圏、中京圏、関西圏、広島地区を対象に、旅行商品の造成に有効な情報を伝えるための説明会を開催した。関西圏・広島地区においては、春季及び秋季説明会の2回開催。

名古屋でも、昨年に引き続き秋季説明会を開催し、地元からの情報発信を行うとともに、地元関係者が積極的に参加できる「商談会」を実施し、旅行会社との接点を増やした。これによって、各地域素材や情報を直接提供できる機会を提供できたことにより、関係者からも実績が上がっているという評価を得た。

[観光情報説明会開催状況]

順	タイトル	開催日	旅行会社社数	旅行会社人数	鳥取県観光関係者数	備考
1	春季鳥取県観光情報説明会 関西	5/11	27	63	43	
2	春季鳥取県観光情報説明会 広島	5/12	14	26	31	
3	春季鳥取県観光情報説明会 首都圏	5/31	17	26	14	誘致協共催
4	秋季鳥取県観光情報説明会 中京	9/6	27	40	37	
5	秋季鳥取県観光情報説明会 関西	9/7	28	59	55	
6	秋季鳥取県観光情報説明会 広島	9/14	14	24	40	
7	秋季鳥取県観光情報説明会 首都圏	10/12	19	27	20	誘致協共催

※ 誘致協：鳥取県観光誘致促進協議会

(3) 観光プロモーター活動事業**決算額 4,896,521円(8,000千円)**

関東圏、中京圏、関西圏、中四国・九州圏を担当する4名の観光プロモーターが、旅行会社の企画造成部門、店頭販売部門等を日常的に訪問し、本県の基本的な観光情報、新たな旬の情報を提供するなど、旅行商品造成と販売促進のプロモーション活動を積極的に展開した。

平成29年度は、一昨年の中部地震以降の低迷の払拭と平成30年度の大山開山1300年祭、JRデスティネーションキャンペーン、JTB「日本の旬 瀬戸内・山陰」などの大型キャンペーンに向けた取組の強化に向けて、イベント出展や旅行会社へのプロモーションを一層強化した。

各圏域の動向を会員に提供し、会員による魅力ある観光地づくりに役立てていただくとともに、会員からの要請に応じて同行セールスにも積極的に対応した。

観光プロモーターの持っている旅行業界で蓄積された知識や経験、幅広い人脈などが、会員の日々の観光振興活動にしっかり活かされるよう、引き続き県内各観光地との緊密な協力関係を構築した。(活動詳細は後出)

(4) 「ぐるっと山陰」誘客促進事業 決算額 41,387,872円(44,600千円)

県外からの誘客促進と観光素材集掲載スポットへの立ち寄りを促すため、旅行商品を造成する旅行会社に対して、経費の一部支援を行った。

事業区分は次のとおり

- ① 商品造成支援事業
- ② バス旅行商品支援事業
- ③ 星取県モニターツアー

事業名	① 商品造成支援事業	
補助の条件	◇鳥取県素材の露出・情報ページの掲出に関わるパンフレット作成 ◇販促目的の現地研修、店頭販促費等	
補助期間	◇平成29年3月1日～平成30年3月31日 ※モニターツアーは、平成29年4月～平成30年3月出発対象	
補助内容	◇1事業所 1案件当たり500千円を上限	
事業費	10,000千円	
執行額	10,000千円	
実施状況	41件	
主な案件	鳥取空港開港50周年&創立55周年限定企画 鳥取の旅 山陰海岸ジオパーク完全踏破、若桜鉄道観光列車「昭和」貸切乗車ツアー 1300年を迎える大山モニターツアー	

事業名	② バス旅行商品支援事業		
区分	宿泊		日帰り
補助の条件	◇1団体20名以上で催行の県外出発のバスツアー ◇連盟作成の素材集より観光・立寄り2箇所以上、食事1か所以上の採択 ◇宿泊は、月～木曜日の県内宿泊(祝祭日の前日を除く) ◇日帰りは、土・日曜日、祝祭日を除く ◇2泊以上の場合は、同条件を泊数分追加		
補助期間	1期	◇申請 平成29年3月1日～平成29年11月30日 ◇催行 平成29年4月1日出発～平成29年12月31日帰着	
	2期	◇申請 平成29年9月28日～平成30年2月16日 ◇催行 平成29年11月1日出発～平成30年3月20日帰着	
補助内容	◇バス1台当たり40千円 ◇1事業所当たり800千円上限		◇バス1台当たり20千円 ◇1事業所当たり400千円上限
事業費	36,000千円		

執行額		22,920千円	7,040千円
		29,960千円	
実施結果	1期	報告件数：172件 バス台数：342台 利用実績：10,920人 催行率：56.4%	報告件数：79件 バス台数：207台 利用実績：7,650人 催行率：47.3%
	2期	報告件数：126件 バス台数：231台 利用実績：7,509人 催行率：63.8%	報告件数：54件 バス台数：145台 利用実績：5,568人 催行率：48.7%

事業名	③ 星取県モニターツアー		
目的	旅行会社による星取県ツアー造成のきっかけとなるようなモニターツアー商品を企画・造成し、実施する		
補助期間	◇平成29年8月1日～平成29年11月30日		
補助条件	◇県外を出発し、「星取県」の星空の魅力を活用できる新たな旅行商品であること ※県内で「星空観測」(雨天時は、室内でも可)を行う県内周遊コース		
補助内容	◇1旅行当たり宿泊600千円、日帰り300千円を上限		
事業費	2,000千円		
執行額	1,545千円		
実施結果	<p>◇ (株)エイチ・アイ・エス関西国内旅行センター主催で以下の4本のモニターツアーを実施</p> <p>① 鳥取県再発見！30名様限定「星取県モニターツアー2日間」(鳥取泊) 10月20日(金)～10月21日(土)1泊2日 31名 智頭急行乗車、恋山形駅(見学)、大江ノ郷(夕食)、さジアストロパーク(星空観察会)、ホテルモナーク鳥取(宿泊)、砂の美術館(見学)、わらべ館(見学)、鳥取砂丘(散策)、砂丘会館(昼食)、とうふちくわの里(体験)</p> <p>② 絶景！鳥取砂丘星空ツアー&鳥取県産ごちそうバーベキュー 1班 9月16日(土)日帰り 46名 2班 9月23日(土)日帰り 43名 大江ノ郷(アフタヌーンティー)、鳥取砂丘(散策)、砂丘会館(星空観察会、夕食)</p> <p>③ 第2弾鳥取県再発見！「星取県モニターツアー2日間」(大山泊) 10月22日(日)～10月23日(月)1泊2日 15名 赤猪岩神社(参拝)、レストランテ天空(星空観察会、夕食)、休暇村奥大山(宿泊)、とっとり花回廊(見学、写真講座)、倉吉白壁土蔵群(散策)、清水庵(昼食)、満正寺(体験)</p>		

3 誘客キャンペーン事業 (公益目的事業2)

(1) 鳥取きなんせキャンペーン事業 決算額 14,967,272円(15,794千円)

① 中国自動車道加西SA(下り線)等での観光PR

関西方面から本県及び山陰方面を目的地とした自家用車、バスツアー利用者の立寄りが多い加西SA(下り線)店舗前広場を会場とし、県、市町村、観光協会を含む会員とともに観光パンフレットの配布、PRブースでの観光案内、アンケート調査、着ぐるみとの記念撮影等による観光PRを計5回実施(4月、7月、9月、11月(ネクスコと共催2回))した。また、インフォメーションコーナーのパンフレットスタンド(4枠)に年間を通してパンフレットを配架し、本県を目的地とする利用者に適宜情報提供を図り、県内誘客と周遊の拡大を図った。

② 蟹取県ウェルカニキャンペーンの実施

県内宿泊施設に宿泊された方に「鳥取のカニ」をプレゼントする「蟹取県ウェルカニキャンペーン」を実施することで、秋・冬季の観光誘客を図った。

・実施期間：平成29年9月1日～平成30年2月28日

・実施内容

(1) 応募ハガキの受付・集約

・郵送される応募ハガキの受付整理

⇒ 応募総数：30,928件（昨年度実績：21,307件）

※対前年比145.2%

・アンケート記載内容の集計及び分析

(2) 賞品の購入・発送

・応募はがきから、毎月100名の当選者を決定

・賞品である「鳥取の旬のカニ」を会員から購入して発送

(3) 情報発信等

・県内外でのキャンペーンの周知及び機運醸成のため、広告出稿やPR活動を実施
新日本海新聞社が発行する観光フリーペーパーへの広告掲載（平成29年9月）

⇒ 中国道、山陽道のサービスエリア等で計4万部配布

新日本海新聞社が発行する「日本海新聞」「週刊大阪日日新聞」の「鳥取のカニ」特集に広告出稿（平成29年10月、平成30年1月の計2回）

・観光ガイドマップ及び観光パスポート「トリパス」に、キャンペーン告知を掲載し、県内外で配布

・大手旅行会社の店舗や大型ショッピングセンター、都市部のイベントなどでPR

・加西サービスエリア、蒜山サービスエリアでPR（9月、11月）

③ 「ゆっくりしてごしない 鳥取キャンペーン」連泊特典企画事業（県観光客誘致促進協議会との共同事業）

・実施目的：県内での連泊促進を図るとともに県内における消費額の拡大を図る

・実施期間：平成29年4月1日～6月30日／10月1日～平成30年3月31日

・対象会社：ANAセールス、日本旅行、近畿日本ツーリスト、HISなど

・実施内容：県内で連泊宿泊された方に、鳥取県内産直店や道の駅、鳥取県観光施設連絡協議会加盟店（除外店舗あり）で利用できる1,000円分のクーポン券を旅行申込旅行会社から提供。

・実施結果：265件、265千円分の利用実績あり。

・その他：鳥取県観光客誘致促進協議会が利用額の一部を負担

④ 県外旅行会社店頭キャンペーン事業

各圏域のショッピングセンターイベント広場や旅行会社店頭などで、パンフレット配布、ゆるキャラ撮影会や缶バッジ作成などで鳥取県観光PRを実施。

【店頭キャンペーン】

順	タイトル（会場名等）	実施日	担当者	実施事項
1	日本旅行 Tis 大阪	6/24-25	楠井	サンプリング、ゆるキャラ、アンケート
2	JTBイオンモール茨木	7/20	楠井	サンプリング、ゆるキャラ、砂絵体験
3	近畿日本ツーリスト モレラ岐阜	7/23	大竹	サンプリング、ゆるキャラ、ゲーム大会
4	日本旅行 Tis 大阪	8/4-9/30	楠井	サンプリング、成約者抽選
5	近畿日本ツーリスト JTB鶴見緑地	10/1	楠井	サンプリング、ゆるキャラ、ゲーム大会
6	日本旅行 Tis 大阪	11/25-26	楠井	サンプリング、ゆるキャラ、成約者抽選

⑤ 大型ショッピングセンター等でのキャンペーン事業

集客力の大きい都市近郊の大型ショッピングセンターやイベント会場などにおいて、着ぐるみとのジャンケン大会・記念撮影会、抽選会などを実施。観光パンフレット、ノベルティなどを配布し、鳥取県への誘客、PR活動を行うとともに一部ではアンケート調査も行った。

【ショッピングセンターにおけるキャンペーン】

順	タイトル（会場名等）	実施日	担当者	実施事項（主なもの）
1	名橋「日本橋」まつり（春）	4/9	田中	サンプリング、ゆるキャラ、アンケート
2	フラワードリーム（ビッグサイト）	4/22-23	田中	サンプリング、アンケート
3	ひろしまフラワーフェスティバル	5/3-5	木村	サンプリング、ゆるキャラ、砂絵体験
4	刈谷ハイウェイオアシス（秋）	6/10-11	大竹	サンプリング、ゆるキャラ、アンケート
5	第5回夏山フェスタ（名古屋）	6/17-18	大竹	県内の山岳案内、サンプリング
6	三井アウトレットパーク木更津（夏）	8/27-28	田中	サンプリング、ゆるキャラ、ゲーム大会
7	三越銀座店	9/6-10	田中	サンプリング、ゆるキャラ、ゲーム大会
8	日吉東急アベニュー	9/23-24	田中	サンプリング、砂体験、アンケート
9	日本橋・京橋まつり（秋）	10/23	田中	サンプリング、ゆるキャラ、アンケート
10	三井アウトレットパーク木更津（夏）	1/13-14	田中	サンプリング、ゆるキャラ、ゲーム大会
11	名鉄 泊りハイキングフェスタ	3/1	大竹	サンプリング、説明

（2）山陰デスティネーションキャンペーン事業 決算額 5,026,820円（5,000千円）

- ・「Nostalgic San'in わすれがたき山陰」をテーマとして、山陰両県とJRが連携して開催する「山陰デスティネーションキャンペーン」（山陰DC）に向け、山陰デスティネーションキャンペーン協議会に対して負担金を拠出したほか、観光プロモーターによる販売促進活動を実施するなど、旅行会社に対する観光PRを実施した。

（3）とっとり観光親善大使活動事業 決算額 1,295,778円（1,800千円）

- ・県内外の各種PRイベントや旅行会社訪問等に「とっとり観光親善大使」を派遣し、本県の観光PRを行った。
- ・観光親善大使の選考会を実施し、新たに3名（うち1名は継続）を委嘱した。

○平成29年度の派遣実績：派遣回数29回（のべ32人）

○とっとり観光親善大使選考会の概要

期 日 平成29年8月18日（金）

場 所 とりぎん文化会館（鳥取市）

応募者 10名（当日参加者7名）

合格者 3名

氏名（ふりがな）	職業
佐伯 諒子（さえき りょうこ）	会社員
市谷 沙織（いちたに さおり）	会社員
倉本 真梨菜（くらもと まりな）	会社員

任 期 平成29年8月19日から平成31年10月31日

○研修会の実施

大使OB等を講師に迎えた研修会（2回）、県内観光地視察（1回）を実施

4 情報発信・宣伝事業**(公益目的事業2)****(1) 観光情報発信事業****決算額 12,222,896円(20,729千円)**

- ・観光ガイドマップの作成
トリパス、蟹取県ウェルカニキャンペーン、大山1300年祭等、時季に併せて広告を掲載し、計4回増刷した。(作成部数:32万部)
- ・簡易版観光ガイドマップの作成
3つ折りサイズの簡易版ガイドマップを作成し、主に県外で配布した。(作成部数:10万部)
- ・観光素材集の作成
旅行会社向けの営業用ツールとして、観光素材やイベント情報等を掲載した「観光素材集」を作成した。
「平成29年度版鳥取県観光素材集・食事編」(3,000部)
「平成29年度版鳥取県観光素材集」(5,000部)
「平成30年度版鳥取県観光素材集・食事編」(4,000部)
- ・ホームページ、SNSでの情報発信
県内の観光情報を連盟ホームページサイト内のイベント情報、参加者募集、おすすめ情報の欄に随時掲出するほか、公式アカウントを有するフェイスブック、ツイッターで随時発信した。
 - ・ホームページ : ページビュー数 約214万PV(平成29年度年間実績)
 - ・フェイスブック : フォロワー数 4,964人(平成30年6月4日時点)
 - ・ツイッター : フォロワー数 751人(平成30年6月4日時点)
- ・「とっとり観光ニュース」の発行
県内の旬の観光情報を写真と記事で紹介する「とっとり観光ニュース」を毎月発行し、県外旅行社・マスコミ向けに送付(紙、メール等での送付箇所計約1,200か所)したほか、県外プロモーター(首都圏、中部、関西、中四国九州)が営業の際に活用した。
- ・パブリシティによる情報発信
特産品提供により各種新聞でパブリシティを実施した。
読売新聞夕刊(平成29年8月31日)「二十世紀梨プレゼント」 応募数:3,780通
中日新聞(平成29年6月29日)
サンケイスポーツ(平成29年6月12日、7月18日、10月10日、11月13日)

(2) 連盟推薦みやげ品PR事業**決算額 90,823円(200千円)**

本県の観光土産品の内容・評価を高めるため、推薦観光土産品の指定を行った。

- ・審査会:平成29年10月27日(金)
- ・審査員:鳥取県観光みやげ品協議会長 河越行夫氏 ほか6名
- ・場所:ホテルセントパレス倉吉
- ・指定品目:11品目、21点 (認定期間は2年間)

(3) フィルムコミッション事業**決算額 5, 331, 275円 (4, 867千円)**

「鳥取県フィルムコミッション」の専任職員1名を配置し(平成26年4月～)、映画、テレビドラマ、テレビ番組、CM、プロモーションビデオ、広告写真などのロケーション撮影が円滑に行われるよう、支援業務や誘致活動を行った。

- ・ロケ候補地の情報収集と情報提供
- ・撮影ボランティアエキストラなどの募集、手配の協力
- ・国、県、市町村、警察など公的機関への必要な許可申請手続きの案内、協力
- ・宿泊施設、飲食店、弁当、各種資器材業者、ロケバス車両等の紹介
- ・ロケハン、ロケーション撮影の同行
- ・ホームページの開設運営、SNSによる支援作品の情報発信
- ・全国ロケ地フェアへの参加、ジャパンFCへの加入等を通じたロケーション撮影の誘致
- ・支援作品を通じた、観光客誘致活動

[ロケ支援等の状況]

区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度
問い合わせ件数	98	112	111	61
放送、公開、出版された件数	49	61	58	36

【主な実績】

- ・ミュージックビデオ：ケツメイシ「僕らの暮らしっく」
- ・雑誌：集英社「週刊プレイボーイ30号」吉岡里帆「光と風と」
- ・映画：2月9日公開「マンハント」(平成28年9～10月ロケ撮影分)

以上各種媒体への露出により、本県観光魅力の発信を実現し、誘客につながった。

5 会員等との連携事業**(相互扶助等事業)****(1) 他団体との協働・連携事業****決算額 400, 000円 (3, 000千円)**

鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合、鳥取県観光施設連絡協議会等と協働で誘客対策事業を実施した。

◇鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合活性化委員会への助成**ア 春季首都圏観光情報説明会**

実施期間：平成29年5月31日(水)

開催場所：東京

参加者：旅行会社17社26名 地元関係者14名

イ 秋季首都圏観光情報説明会

実施期間：平成29年10月12日(木)

開催場所：東京

参加者：旅行会社19社27名 地元関係者20名

ウ 旅行会社招致現地研修

実施期間：平成29年10月18日～20日

参加者：旅行会社(JTB、NTA、KNT、農協観光、名鉄)社員 27名

(2) 地域別専門部会事業

決算額 0円(100千円)

- ・県内東部、中部、西部の3地区において、観光協会、DMO、県(観光戦略課、各総合事務所観光担当課)に参集いただき、連盟事業の紹介、各観光協会等の取組状況についての情報共有及び意見交換を実施した。
- ・平成30年度からは、年2回(春、秋)に「地域別戦略会議」として実施予定。

6 収益事業**(1) 観光PRノベルティ作成事業**

決算額 805,721円(1,500千円)

- ・収益事業として、開運八社巡りの成年開運手ぬぐいと観光名刺台紙の作成を行った。
 - 成年開運手ぬぐい 3,000枚
 - 観光名刺台紙 4,300枚

7 会議

連盟の総会、理事会および監査を次のとおり実施した。

(1) 総会**ア 通常総会**

- 開催日 平成29年6月22日(木)
- 場所 倉吉シティホテル
- 議事
 - ・平成28年度事業報告について
 - ・平成28年度収支決算報告について
 - ・役員を選任について

イ 臨時総会

- 開催日 平成30年3月29日(木)
- 場所 倉吉シティホテル
- 議事
 - ・平成29年度補正予算について
 - ・平成30年度事業計画について
 - ・平成30年度収支予算について

(2) 理事会**ア 通常理事会(第1回)**

- 開催日 平成29年6月5日(月)
- 場所 倉吉シティホテル
- 議事
 - ・平成28年度事業報告について
 - ・平成28年度収支決算報告について
 - ・平成29年度観光事業優良従業員の表彰について
 - ・通常総会の招集について
- 協議事項
 - ・役員を選任について

イ 通常理事会(第2回)

- 開催日 平成29年6月22日(木)
- 場所 倉吉シティホテル
- 議事
 - ・会長、副会長及び専務理事の選任について

ウ 臨時理事会（第3回）

- 開催日 平成29年9月25日（月）
場所 ホテルセントパレス倉吉
議事 ・平成29年度予算の補正について
・有期職員就業規則の改正について
・会員の入・退会について
協議事項 ・平成30年度予算要求に向けた考え方について

エ 臨時理事会（第4回）

- 開催日 平成30年3月9日（金）
場所 ホテルセントパレス倉吉
議事 ・平成29年度補正予算について
・平成30年度事業計画（案）について
・平成30年度収支予算（案）について
・組織規程の改正について
・育児休業及び介護休業等に関する規則の改正について
・職員給与規程の改正について
・会員の入会について
・主たる事務所の移転について
・臨時総会の招集について
協議事項 ・役員を選任について
・平成30年度組織体制（案）について
・平成30年度事業実施方針（案）について

オ 臨時理事会（第5回）

- 開催日 平成30年3月22日（木）
場所 書面決議
議事 ・平成29年度予算の補正について

カ 臨時理事会（第6回）

- 開催日 平成30年3月29日（木）
場所 倉吉シティホテル
議事 ・専務理事の選任について
・会員の入会について

(3) 監査

- 実施日 平成29年5月19日
場所 鳥取市、倉吉市、北栄町
事項 平成28年度事業実施状況及び決算状況